



団地管理組合法人加古川グリーンシティ
 管理組合広報委員会
 グリーンシティ自治会
 管理事務所 ☎425-6852
 ホームページ <http://www.greencity.gr.jp/>
 メールアドレス kanrikumiai@greencity.gr.jp

管理組合からのお知らせ

新春のお慶びを申し上げます。

皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのことと存じます。穏やかに始まった年初ではありますが、本年も理事一同、緊張感を持って事業の遂行に努めてまいります。皆様のご協力、ご理解の程よろしくお願ひ申し上げます。

今年は、各棟のエントランス付近を改修します。工事には、通行に支障をきたすこともありますので、ご協力の程よろしくお願ひします。完成は、お盆までの予定で行います。その他の必要な改修は、理事会で精査しながら行っていきます。それと長年懸案になっている、グリーンシティの管理規約の見直しを行いたいと思っています。

先月号でお伝えできなかった環境整備委員会の人選を理事会において決定しましたので、お知らせいたします。

- | | | | |
|-------------|---------|-------|---|
| 環境整備委員会 委員長 | ○棟○○○○号 | ○○○○○ | 氏 |
| 副委員長 | ○棟○○○○号 | ○○○○○ | 氏 |
| 委員 | ○棟○○○○号 | ○○○○○ | 氏 |
| | ○棟○○○○号 | ○○○○○ | 氏 |
| | ○棟○○○○号 | ○○○○○ | 氏 |
| | ○棟○○○○号 | ○○○○○ | 氏 |



修繕委員会からのお知らせ

<エントランスドア更新について>

仕様として“自動ドア”への改修と、エントランスドア外部の床タイルの貼り替え工事も同時に行います。現在、自動ドアの見積りを数社へ依頼をしています。完成は夏頃の予定です。

快適で安全性が確保できるエントランスドアの採用により出入口の向上を図っていきます。工事期間中は、一部通行規制が発生しますが、ご理解・ご協力をお願いします。



<給水ポンプのオーバーホールについて>

現在15基のポンプにより各戸へ給水が行われていますが、すべてのポンプが対象となります。実施時期は未定ですが、給水制限等の連絡があった場合には、ご協力をお願いします。

管理事務所からのお知らせ

自転車のスタンドはロックして!

駐輪場で自分の自転車を引っ張り出していたら、横の自転車のスタンドが上がって倒れることってよくありますよね?

スタンドのロックをしてもらったら、こんなことには、ならないのですが!

自転車を駐輪場に止めるときには、必ずスタンドのロックをお願いします。



自動車のドア開閉に注意!

グリーンシティの駐車場は狭いため、隣の自動車のドアが当たって、傷をつけられたという苦情が多く寄せられます。

自動車のドアは、一人ひとりが十分注意して開閉するようにお願いします。

風の強い日や子供だけのドアの開閉は十分注意してください。

また、同乗者は車を出庫してから乗る、入庫する前に降りるといったような配慮もお願いします。



連載 防災マニュアルは心の中に!

今年も引き続き「地域豊醸化」に関わる「風の人・土の人・水の人・光の人・火の人」から『まちづくり』を考えます。今回は「土の人」について。

「土の人」とは、土の性質を持った人のことであり、その土地に運ばれてきた種を温かく守る人や、地域を支えコツコツと耕す土台的な人のことです。



土の人は、それぞれの地域を基盤として活動している人が多いようですが、実際のところ他の所から来た人や、地域から一度外に出てUターンして帰ってきた人も多いようです。その人達は、その土地に愛着を持ち、その場所でそれぞれ思いのこもった活動をしながら地域を育てようとする性質を持っています。ところが地域豊醸化に向けて少しだけ問題があります。

土が肥えていて、農作物がよくできるような肥沃な土地であり、何を植えても育つような土地であれば問題はないのですが、そのような土地は非常に珍しく、実際には土地が荒れ果てて傷ついたり、土地全体が病んでいたり、既に枯れはててしまっているような土地もあります。そのような土地で『種を植え、芽吹かせ、花を咲かせ、実らせる』このサイクルを継続させる文化を創り上げる為には、『土の人』だけでは無理だと考えられるのです。

まちづくり・地域づくりを植物の栽培に例えることが多いようですが何故でしょうか?おそらく、地域の中で進める何らかの活動や表現行為を行うことが、植物を育てることに似ているのではないかと思います。『種を植え、芽を吹かせ、苗を大きく育て、強い葉や幹をつくり、蕾をつかせ、花を咲かせ、実を実らせ、実を利用し、種を収穫する』このサイクルを根付かせる「文化」にできれば、地域豊醸化に向けて動きます。その為にも、種を植える前の「土作り」は絶対に欠かせません。



その「土の人」に必要なチームづくりがあります。もし開花しなくても、実が利用できなくても、「失敗」とは思わず、枯れても土に戻り、古い土の養分となり、次の発芽や開花に繋がると考えることのできる「土」の集合体『土地・地域』というポジティブチームをつくることです。ポジティブに考えると無駄な活動や無駄な表現行為はなくなり、どんなことでも何らかの養分となり、その土地の経験値となります。「失敗は失敗と思うこと自体が失敗」であり、あくまでも何かをやったことの経験値の加算なのです。何もやらなければ、経験値は全く加算されません。そう考えると経験値の加算は土地への「肥料」です。ところが「肥料や水のやり過ぎ」は



土を肥沃にさせることを通り超え、逆に「土を腐らせる」ことにもなります。そう考えると『土』自体は強い吸収力があり、外部からの影響を受けやすいという性質も持ち合わせています。



また「土の性質」には、外部からの影響を受けやすいだけではなく、土からも外部へ発信をすることがあります。それは土そのものの性質や外部からの影響により、土は熱を発します。その熱は上昇気流を生じさせ、その上昇気流が空気を大きく動かし風をつくります。その風に乗って様々な性質の人・物・情報等の『種』が運ばれてきます。そう考えると「土の人」が集まることで「風の人」を生み出すとも考えられます。上昇気流は風となり、更には、雲を生み出し、雨をつくります。このことから「土の人」は「風の人」を生み出し、「水の人」も作り出します。すべての人の基盤となるのは「土の人」であると考えられ、それらは「土の人」が外力や集合によって、他の性質を生み出すのだと考えられます。

ところが一概に「土」といっても、肥えた土もあれば、痩せた土もあり様々です。その土に根付く種もあれば、芽吹きすらない種もあり、種の方も土を選ぶようで、畑や田んぼのような場所でなければ育たないものもあります。「芽吹くこと」ひとつをとっても相性ということが存在するようです。



土がどんなに肥えていても、どんなに良い種がまかれても、お互いからの「興味」が注がれなければ育つことはありません。更には「興味」というものには必ず「善意」が付きまとわなければなりません。この善意がなければ、種は一時的に発芽しても継続して長期的に育つことも無いし、枯れてしまうことに繋がってしまいます。まちづくり・地域活動も全く同じで、温かい心『善意』を持って行動することが重要です。

「これをやれば自分が得をする」といった行動をとれば、一時的には多くの人は興味を持ち集まりますが継続した活動にはなりません。「善意の心で活動すること」これが最も大切なのです。



「地域豊醸化に関わる人」からまちづくりを考えていく中で、あらためてグリーンシティの方々の善意の温かい心を感じることができました。「土の人・加古川グリーンシティの人々」と共に歩んだ阪神・淡路大震災からの23年、今後も善意の心を持ちつづける地域活動・防災活動をしましょう。その為にも正しい情報の共有が大切! 情報共有は難しいことを考える必要もなく、大きな話題も必要ありません。『日頃の挨拶』が最も簡単で大切な『話題』なのです。挨拶を通して、今年も一年「楽しく防災活動をしましょう」

次回は、地域への命の水となって注ぐ「水の人」

自治会からのお知らせ



新年、明けましておめでとうございます。

昨年末の12月23日(祝)に、過去に実施したおもちつきの中では最高の天気にも恵まれ「ふれあいもちつき大会」を無事終了することが出来ました。

ご協力いただいた方々と各団体にお礼申し上げます。



「ふれあいバスツアー」参加者募集

3月10日(土)に「ふれあいバスツアー」を以下のとおり実施します。今回「食と郷土の歴史」をテーマに計画しました。

参加希望の方は管理事務所に申し込んでください。

「ふれあいバスツアー」実施要領

- 開催日：平成30年3月10日(土)
- 参加資格：グリーンシティ居住者
小学生以下は保護者同伴
- 募集人数：35名(先着順)
- 参加費用：1,500円/人(当日徴収)
- ※申込用紙は別途配付します。

タイムスケジュール

9:00	グリーンシティ	集合
10:30	御座候工場	見学
11:30	もちむぎのやかた	見学・昼食
13:30	県立歴史博物館	見学
15:30	ヤマサかまぼこ工房	お買い物
17:00	グリーンシティ	到着

自治会長のひとこと

今年、4日(木)が最初の「燃やすゴミ」の収集日でした。

正月三が日の間、見事にどのゴミステーションにも、ひとつのゴミも、出ていませんでした。

みなさんのご協力に感謝します。

少年団からのお知らせ

新年あけましておめでとうございます。本年も役員一同、力を合わせて頑張っていきたいので、少年団活動にご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

こんなこと知ってましたか？

公共の場やショッピングモール、電車の中など多くの人が集まる場所に行くと、子どもは、広々とした空間でワクワク・・・物珍しさや、興味惹かれるものがたくさんあって、あちこち見たり触ったり、目に入った物を思わず手に取ったまま走り出してしまうこともあるでしょうね？!

また、電車など普段乗り慣れない乗り物に乗ると、テンションが上がって、通路をキャッキョと騒ぎながら歩き回ったり、大声を出したりして、お母さん達は、ハラハラ・ドキドキかもしれません？!

周りの人からは、白い目で見られているのを感じるし・・・何とか子どもをおとなしく静かにさせたい!!と願うのが通常でしょう。



さてこんな時、親(大人)は、いったいどうしたらいいのでしょうか？その場で、慌てて子どもの動きを静止しようとしても、言葉でなだめようとしても、そんなに簡単には収まりませんよね？!

やはり、これは普段からの親子のコミュニケーションが一番大切で、お互いの気持ちが通じ合うようであれば、少し注意を促すくらいでうまくいくのでしょうか？!

けれども、まだ物事の判断がしにくい小さな子どもは、手をつなぐ、親の服の一部を持たせるなど、側から離さないことが第一です。できれば、ベビーカーなどに座らせて、おもちゃなどお気に入りのものを持たせておくのがいいですね。

もう少し大きくなった幼児を、電車やバスなどの乗り物に乗せる時は、窓の外の風景を見せながら次の駅の名前を言ったり、どんな所へ行くのかなど楽しく話して聞かせたりすることで、子どもも期待感を持ちながら道中を楽しめると思います。

また、長時間の車中になるなら、乗る前に公園などの広場で思いっきり遊ばせ、体力を使わせておいて、乗り物の揺れの心地よさと共に、夢の世界へ誘うこともできますね。

これはほんの一例ですし、各家庭の親子関係で、いろいろと方法は違っているものと思われるので、皆さんの体験談でこんな良いことがあったよ!!のお話を教えていただけたら嬉しいなと思っています。



ご意見、ご要望などをどしどしお書きください。(ご記名をお願いします)

